

佐用町

こうづきじょう

上月城

標高 140m／上月歴史資料館登山口から登る
所要時間 1 時間

難易度：★

播磨・備前・美作 三国境目攻防と悲劇の城

上月城は鎌倉時代末期（1300 年代）に赤松系の上月景盛が太平山に築城したのが初めてと言われている。その後、本城を現在の荒神山に移したが、嘉吉の乱で上月氏は滅亡。以降、山名、赤松、尼子の攻防があり、赤松の城となつた。

天正 5 年（1577 年）、羽柴秀吉の播磨進攻により落城し、秀吉はこの城を三国境目の重要な城と評した。この時の秀吉軍による攻め方、城内の者を全て殺害という凄惨なものとなつたことは有名である。

落城後は尼子勝久や山中鹿介らが入城するも、翌年天正 6 年（1578 年）には毛利に攻められ開城。尼子氏の終焉の地となつた。

登山道は整備されており、何より短時間で山城跡に着けるため、初心者の最初の挑戦先としておすすめである。そこまで高く登らずとも景色が楽しめる。

上郡町

しらはたじょう

白旗城

標高 440m／西山麓登山口から登る
所要時間 4 時間（休憩込み）

難易度：★★★★

白い旗が舞い降りた「落ちない城」

建武 3 年（1336 年）、赤松円心が築いた山城。感状山城と同じく、こちらでは赤松円心が新田義貞の軍勢を足止めしたことから、「落ちない城」として有名である。平成 8 年に国指定史跡となつた。

城名は、この城に源氏の氏神である京都の石清水八幡宮から強風に乗って白い旗が飛んできたという言い伝えに由来している。これは、赤松氏は正当な源氏の流れを汲む武家であるということを示している逸話もある。

登山道は険しく、さらに苦むした石が転がっているため足元に注意。これらの石は、新田義貞軍を足止めするため、山頂から落としたものではないかと言われている。現在は木々が多く、景色の全てを見渡すことはできないが、山頂からは麓の一部を望むことができる。

白旗城まつりの際にガイドと共に登ることができる。



山城とともに巡る古民家ランチ ☕

たつの市

①菓子と珈琲 朔
たつの市龍野町川原町 106
TEL 0791-72-8239
定休日：木曜日・第3金曜日



赤穂市

②日本料理 二条
赤穂市坂越 788
TEL 090-7365-5000
定休日：月・火・水曜日



赤穂市

③暖木
赤穂市坂越 2022
TEL 090-1240-7461
定休日：火・水曜日



宍粟市

④cafe遊山
宍粟市山崎町山崎 403
TEL 0790-60-5768
定休日：日・月曜日・祝日



宍粟市

⑤遊楽里 農園&cafe
宍粟市千種町七野 313-1
TEL 0790-71-0471
水・木・金・土曜日のみ営業



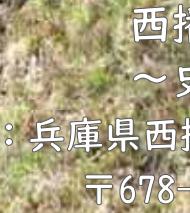
佐用町

⑥古民家カフェ moku × moku
佐用町役場 240
TEL 070-2311-3636
土・日曜日・祝日のみ営業



佐用町

⑦jardin et cafe えとらんぜ
佐用町平福 459
TEL 090-6069-1435
定休日：月・火曜日



西播磨の山城を訪ねて

—守護赤松の時代から秀吉の播磨進攻までの9山城跡—

西播磨には数多くの山城があります。

鎌倉末期から、室町時代にかけてこの地域一帯を支配した守護大名赤松円心一族が、1441 年の室町將軍足利義教を暗殺し幕府軍と戦った嘉吉の乱で滅んだ後、山名氏の支配を経て、応仁の乱に乘じた赤松一族の再興があり、後期赤松時代となるも、天下取りを目指す織田軍団の羽柴秀吉による播磨進攻により、赤松の城はことごとく落城。西播磨は平定され、さらに、一国一城令が出された江戸時代に入り、より居住しやすい平城への立地が進んだため、ここに300 年間続いた山城の時代が終ります。

その代表的な山城跡を、訪ねてみましょう。

はじめに

私たち、ビジョン委員「史跡と食を巡るチーム」メンバーは、歴史、食という観点から西播磨の良いところをみなさんに発信していきたいということで活動をしてきました。

私たちが実際に登った山城の情報と、西播磨地域にある古民家レストラン・カフェをひとまとめに紹介したこのパンフレットを手に、西播磨を訪ねてくださる方が増えていけば、とても嬉しい思います。

- ◆城山城・・・岩場が多く、登るのが本当に大変でした。時間もかかるので、休憩を適度に取ってください。
- ◆樅岩城・・・急な傾斜かつ砂地がむき出しの箇所もあるため、滑って転ぶ可能性があります。
- ◆感状山城・・・途中までは階段があり、山道はよく整備されています。中腹で、方向に迷わないようご注意を。
- ◆尼子山城・・・岩場が多いですが、登りやすいです。登山道から望める瀬戸内海が美しいですよ。
- ◆篠ノ丸城・・・山の中腹まで車で上がることも可能なので、準備だけしっかりすれば気軽に登れます。
- ◆長水山城・・・平成30年7月の豪雨で、一部登山道が岩だらけです。また、草が伸びている箇所もあるため、夏場はヤマビルに要注意。
- ◆聖山城・・・山道は落葉だらけでかなり滑りやすいです。雨の翌日等に登るのはおすすめできません。
- ◆利神城・・・現在、登ることはできません。早く登れるようになれば、嬉しいですね。
- ◆上月城・・・聖山城に次ぐ、登りやすい山城です。登山道もきれいに整備されています。
- ◆白旗城・・・岩場が多く、傾斜が急なところもあります。苔が生えた岩も多いので安全に気をつけて。

山へ登る時は準備をしっかりと！

- | | | | |
|-------------------|--------------|------|---------|
| □動きやすい服装、靴 | □帽子 | □飲み物 | □タオル |
| □杖（必要な方） | □ビニール袋 | □かっぱ | □動物よけの鈴 |
| □虫除けスプレー（夏はヒルに注意） | □荷物はリュックサックへ | | |



用語集

- ◆堀切（ほりきり）・・・敵の侵入防止等のために山の尾根を人工的に削って作った溝。
- ◆曲輪（くるわ）・・・城の内外を土塁や石塁、堀切などで区画した平らな土地の部分。
- ◆須恵器（すえき）・・・古墳時代から平安時代まで生産された土器。
- ◆土塁（どりい）・・・敵や動物などの侵入を防ぐために築かれた、土でできた壁。
- ◆石塁（いしりい）・・・敵や動物などの侵入を防ぐため、石を積んで作られた壁。

西播磨地域ビジョン委員会
～史跡と食を巡るチーム～

事務局：兵庫県西播磨県民局 県民交流室 県民活動支援課

〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25

TEL 0791-58-2128

令和元年12月発行